

# 離床センサー

vol.98 2017.7



# 現場レポート!



離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します!



福井県・Kグループホーム様 ● 製品：ドアコール・ハイパー



福井県のKグループホームをレポート  
ドアコール・ハイパーの工夫をご紹介します。

## 課題

対象者の徘徊行動を、部屋の出入口の「超音波・赤外線センサー」で検知し、「ハイパー受信器 10」で報知していました。スタッフの訪室時にセンサーがたびたび反応してしまうので、照射範囲にかからないように入って電源を切ることがあり、急いでいるときは手間でした。



## 対策

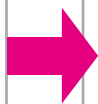
「超音波・赤外線センサー」を「ドアセンサー」に変更し、通路側に電源を ON・OFF できる「ハイパー送信器」を設置しました。

### Before

超音波・赤外線コール・ハイパーの場合

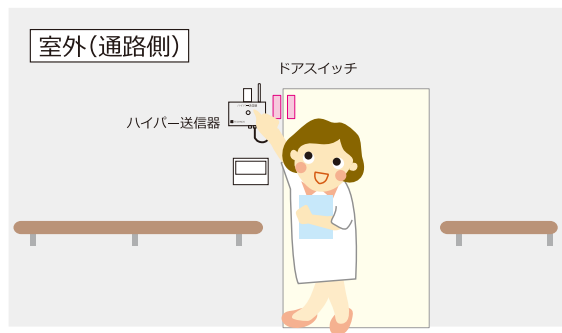


室内に設置。  
センサーを避けながら入室し電源切ります。  
作業が終わると、電源を入れてから部屋を  
出ます。



### After

ドアコール・ハイパーの場合



室外（廊下側）に設置。  
ハイパー送信器の電源を切り入室します。

## 効果

入室する前に廊下側の「ハイパー送信器」の電源を切ることができるので、かんだりする  
手間がなくなりました。また、一時停止機能を使えば、5分後に自動復旧するので電源  
の入れ忘れの心配がありません。